



アイデアいっぱい!

「令和4年度 読書に関する状況調査」より

子どもが本に親しむための環境作り!

たくさんの園から教えてもらった「子どもたちが本に親しむための工夫」を紹介します



ゆったりと絵本の世界に浸れる工夫

- 子どもが本の世界に入り込めるよう、歌や手遊びを入れたり、パペット等を使っての読み聞かせを行っている。また、興味・関心をもてるよう、季節や行事などに合った飾り付けや展示をする。
- 保育室やホールの一隅、廊下の空きスペースなどにコーナーを作り、机やイス、畳やクッションを置くなど、一人でも友達とでも、ゆったりと本と向き合える場を設ける。
- 子どもの目線に合わせて表紙が見えるように平置きにし、気になったときにすぐに手に取り、楽しめる場を設ける。
- 人気のある本は何冊か購入し、一人一人の手に渡るようにする。 等

親子で読書に親しめる工夫

- 「おはなし宝箱」を使って、絵本選びや読み聞かせのワンポイントアドバイスの紹介などを行う。
- 玄関前にコーナーを作り、送迎時に一緒に絵本を見られる工夫や、週に1回、家庭への絵本の貸し出しをする。
- 保護者のおすすめの絵本コーナーを設け、書いてもらったコメントを本に付けて並べる。
- 保護者向けの本を並べ、送迎時に読めるようにする。
- 家庭での読み聞かせの様子等感想に書いてもらい、それを年間のデータとしてまとめ、年度末に保護者に渡す。 等

何がおるん?



大きゅうなったら・・・?
育ててみたい!

気持ちよく本に親しめる工夫

- 書店風に室内に貼ったテントの中に、子どもが選んだおすすめの本を並べ、楽しい雰囲気の中で読めるようにする。
- 子どもがおすすめの本を選び、好きなどころやあらすじなどを紹介し合うピブリオトークを行う。
- 職員で定期的に本棚の絵本の整理、修理を行い、環境を整える。
- 「絵本の病院」を設け、修理が必要な本を子どもが自分で届けに来て、修理をしてもらい本を受け取り、再びお気に入りの本に親しめる場を設ける。 等

どのアイデアも、一工夫すれば
できそうなものがたくさん!
ぜひ参考に
してみてくださいね♪

